

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	プラスチックステントを使用した EUS-HGS おけるリインターベンションの有用性と安全性を検討する単施設後方視的研究 (B25-162)	
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部消化器内科学 講師 渡辺 真郁	
本研究の概要・背景・目的	<p>Endoscopic ultrasonography guided- hepaticogastrostomy (EUS-HGS)は消化管狭窄を有する患者さんにも有用な胆管ドレナージ方法として、近年日本中心に広く実施されている処置です。</p> <p>この処置ではプラスチックステントを胆管内に留置することとなりますが、ステントが閉塞した際には内視鏡的なステント交換（リインターベンションといいます）が実施されます。</p> <p>EUS-HGS 手技そのものの、成功率や偶発症に着目した報告はいくつもありますが、リインターベンションに着目して有用性や安全性を検討した報告は少なく、さらなる検討が必要です。</p> <p>そこで、プラスチックステントを使用した EUS-HGS おけるリインターベンションの有用性と安全性を検討することといたしました。</p>	
調査データ 該当期間	2017年1月1日から2025年12月31日のデータを調査します。	
対象となる患者さん	2018年1月1日から2025年11月30日の間に当院でプラスチックステントを使用した EUS-HGS おけるリインターベンションを受けた方	
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2017年1月1日から2025年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。	
	研究対象者の背景	年齢、性別、現病歴、既往歴、身長、体重、薬歴、細菌培養結果
	画像所見	CT、MRI、US、EUS、ERCP、EUS-FNA、Xp
	血液・生化学的検査値	WBC、RBC、Hb、PLT、CRP、Alb、T. Bil、ALP、 γ GTP、AST、ALT、Ca、LDH、BUN、Amy、Lipase、総胆汁酸
	内視鏡所見	使用したスコープ、主実施医、処置時の透視画像・動画、使用したカテーテルとガイドワイヤーの種類、ステント抜去に使用した器具、留置したステントの種類と長さ、位置、内視鏡の結果
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。	
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から	
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。	
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、消化器内科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。	

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：消化器内科学・講師 担当者：渡辺 真郁（ワタナベ マサフミ） 電話：042-778-8111（代表）</p>
備考	